

地球と月の平均距離（月の平均公転半径）は、約 384,400km です。しかし月の公転軌道は、完全な円ではなく、月と地球の距離も刻々と変化し続けています。一番遠い時は約 406,700km、一番近い時は約 356,400km と非常に幅が大きいのです。当然、地球から見た月の大きさは（その逆に月から見た地球の大きさも）変化します。当然一番近づいた時が、一番大きく明るく見えるわけで、そういう満月は「スーパームーン」と呼ばれています。

満月から次の満月までの間隔は、平均 29.5 日です。満月というのは、必ずしも「月齢 15 の月」とは限りません。正確には「月相（げっそう）14 の月」が満月です。大抵は満月から満月までは1ヶ月未満なので、月初めの日に満月になると、1ヶ月に2回満月が見られることがあります。その2回目の満月は「ブルームーン」と呼ばれています。

今夜はその2つが重なって「スーパーブルームーン」が現れました。地球からの距離は約 357,800km でまさにスーパームーン、輝面比（月を円盤と見立てた場合の光っている部分の面積）は 100%と、完全な満月でした。レタス畑に浮かぶ満月は、とても明るく大きく見えました。

(2023年8月下旬／北軽井沢)

